

海外現地セミナー(台北)レポート

OLICD Center と台湾生命保険協会は、2010 年度第一弾となる海外現地セミナー「LIAROC-OLIS 2010」を開催し、現地の保険会社に勤める多くの方々のご参加をいただきました。

開催日時：2010 年 5 月 20 日(木) 午前 9 時 00 分～午後 4 時 30 分

開催場所：生命保険協会 大会議室

セミナーレポート

- 参加者申込：60 名。(実参加者数は、午前 54 名、午後 53 名)
- 生保協会頼理事長、OLICD Center 岡本理事長の挨拶に引き続いて講義開始
- 午前「保険法等の規制と生命保険営業」(OLICD Center 古藤)
 - 日本の生命保険に関する法規制は、消費者保護の流れの中で整備・発展したものであることを詳らかにするとともに、今年 4 月に施行された保険法とそれが営業に及ぼす影響を、具体例を挙げて解説した。また、不払問題の影響についても説明した。
- 午後「今後の営業戦略」(保険情報 鈴木)
 - 生保マーケットの構造変化により、遺族保障マーケットが縮小し、年金・医療・介護などの生存保障マーケットが拡大していることを説明した。また、日本生命、プルデンシャル生命、ライフネット生命 3 社の営業戦略がどのようなものか、それぞれ詳説した。

いずれの講義でも参加者は熱心に聴講し、講義後は鋭い質問が相次ぐなど、日本の生命保険業界に対する関心の高さを浮き彫りにしていた。

